



発行 市民政党「草の根」
 代表 井原 勝介
 住所 〒740-0017
 山口県岩国市今津町
 4-11-20
 コーポ本 1階
 電話 0827-21-9808

接待の土壌

代表 井原勝介

緊急事態宣言の効果もあって、コロナ感染者も減少傾向にあり、ワクチン接種も始まっているが、一方で変異種の問題もあり、予断を許さない状況が続いている。経済との両立という方針のもと、GOTOにこだわったあげく、結局、事実上の医療崩壊、経済もさらに落ち込み、「一兎をも得ず」ということに。明らかに、政治の失敗である。

官僚の疑惑続発

そうした中、菅首相長男による接待事件により、総務省幹部十数人が懲戒処分を受けるといふ事態に。利害関係者との会食を禁じる国家公務員倫理規程に違反するのだから、弁解の余地はない。



さらに、NNTによる大臣経験者への接待も発覚、疑惑は跡を絶たない。

そこには、倫理を超えた政官の関係に關わる根本的な問題が潜んでいる。

政官業の構造

省庁にとっては、法律が権限と財源の源泉であり、その法律を通すためには、国会、すなわち政治家の世話になる。つまり、官僚は政治家に頭が上から下なのである。一方で、政治家は、役所への便宜を図ることにより、業界から金と票を得る。こうした政官業に横たわる構造的な問題が、接待や贈収賄を生む土壌となる。

ノーを突きつける

公務員の倫理をいくら厳しくしても、土壌を変えなければ何も変わらない。は、どうすればいいか。支援者から頼まれれば、口利きや斡旋などで行政に不当に圧力をかける。中央、地方を通じて、それが政治家の仕事と信じて疑わない輩ばかり。いわゆる「政治屋」が親から子へ、秘書へと受け継がれ再生産される。必然的に、行政の公平性は失われ、税金の無駄遣いにつながり、国民、市民全体の幸せは二の次になる。

なものである。日本は経済は一流、政治は二流と言われてきたが、諦めてはいけない。こんな政治に、私たちがはつきり「ノー」を突きつけなければならぬ。そして、民主主義が息づく国、地域を作りたい。軍事クーデターが起こったミャンマーでは、死の危険を冒して大勢の市民が立ち上がっている。香港では、中国の厳しい締め付けに對抗して、民主派の市民や議員が今も闘っている。民主主義は、自ら勝ち取るもの。

お知らせ

草の根恒例の左記の集会を新型コロナウイルス感染防止のため今年度は中止することを幹事会で決定しましたので、ご了承ください。

2月・・・運営会議
 5月・・・草の根大会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、拡大から収束するよう皆さんが多大な努力をされていますが、現在のところ、まだ自覚は立っていません。

感染して免疫をつけるか、ワクチン接種により免疫をつけることにより、集団免疫を獲得するまでは安心はできません。

感染しても若年層は無症状で回復することも多いようですが、年齢とともに症状が多岐にわたり、重症化や生命にかかわる状態にまで発展する可能性が増してきます。

また、発症して回復した後も、感染発症時に体験した症状が持続する方もみられます。後遺症状（Long-COVID（注））が持続することも問題になっています。

ワクチンは、① 感染予防、② 発症予防、③ 重症化の予防などのメリットがあります。リスクのないワクチンはありません。

新型コロナウイルス感染症について

（寄稿） 鷺田医院 院長 鷺田 哲雄

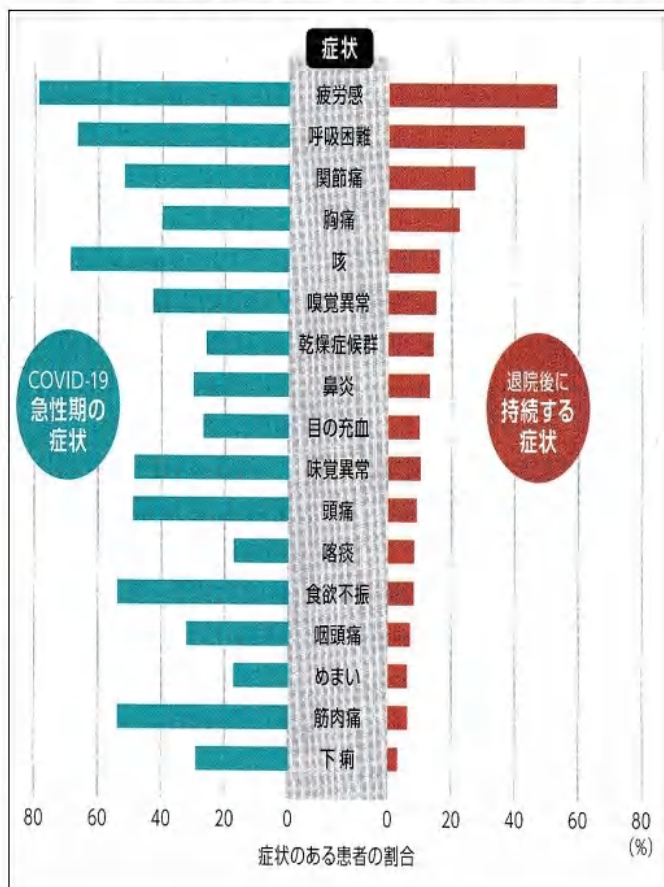
（注） Long-COVID（NIKKEI MEDICALより抜粋）

新型コロナウイルス感染から回復した後に、激しく活動をした翌日などに、痛みや倦怠感で動けなくなるという後遺症症状を訴える人が多くなってきている。欧米では、こうした症状は「Long-COVID」と呼ばれ、社会問題になりつつある。確立した治療法はない。

コロナワクチン接種はぜひ受けましょう。

りません。しかし、大切なのは、感染しないこと、発症しても軽症で回復すること。重症化を防ぐ効果も期待できることなどを考慮すると、ワクチン接種を受けた方がメリットが多いと考えられます。

COVID-19の急性期の症状と退院後に持続する症状



右のグラフは鷺田院長提供の資料を会報用にコピーしています

草の根文芸



あれあれと言う間に伸びて朝顔の古代むらさき新涼を咲く
藤伊 花子

山茶花の花片積もる敷石を宅配の男大股に來る
山代屋 貞子

青い海青い空なり空気まで琉球ブルーあさがおもまた
中村 蓉子

4月からの新年度予算（7500億円）を審議する2月県議会で、予算書の中に書いてあるカタカナ言葉の多さに驚き、その言葉の意味を担当部に聞いてみると、実は県の職員もよくわからない〜というのです。

コロナ禍で、テレワークや密集・密接を避けるためデジタル化を推進する施策が、新年度予算には盛りだくさんです。しかしその中に、ハッカソン・データドリブン・シビックチェックなどの言葉が出てきて、これらの意味が分からなければ予算審議のしようがないと質したら、部長の答弁は各委員会ですべてで審議しますので、と逃げられてしまいました。

予算(ハッカソン?)と介護サービス停止

県議 井原すがこ

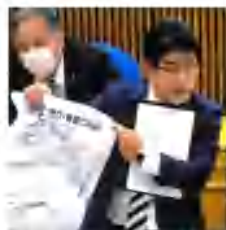
また、介護サービスの確保についての質問では、介護認定を受けている女性が、ある日

突然、事業者から介護サービス停止・打ち切りの通知を受

けたという現状を、県としてどう是正するのかとの問いに、介護利用者と話し合いをしているので、法的には問題ないとの答弁でした。介護保険料を支払い、サービスを受ける権利がある人を放り出すという暴挙を容認する行政の姿勢が信じられません。



草の根議員のレポート



現在、

先日 平成23年3月11日の東日本大震災の映像がテレビで放映されていた。大津波が襲ってくる場面や福島原発が爆発する場面は、何度見ても恐怖を覚える。同じように、毎年日本のどこかの地域でも台風や豪雨災害に

社」による接待が、国家公務員倫理法で禁じる違法接待と認定し、谷脇総務審議官ら9人の懲戒処分を発表、その後、NTTとの違法接待も明るみとなり、事務次官候補であった谷脇総務審議官は更迭された。国家を背負って頑張っていた優秀な官僚でも、権限を持つ



総務省は、菅首相の長男が勤める放送会社「東北新社」

より多くの人が被災され避難所暮らしをされている。そして、

廃プラ・自然環境保護を活動の中心に取り組み

市議 広中英明

この暮らしや命を守るためには、備えるしか方法はないと思うが、同じレベルで、私たちの暮らしや命を脅かしている、「ゴミ問題」と「自然環境破壊」も世界的規模で静かに確実に広がって来ている。便利な暮らしを求めた結果で、

3月議会からゴミ問題(廃プラステック)と自然環境保護(錦川水質)について一般質問を続けている。今後も環境問題について取り組んでいこうと考えている。

昨年からの新型コロナウイルス感染症が世界を席卷し、日本中のすべての人の暮らしも大きく制約を受けている。このような地震・豪雨災害や感染症などの自然災害から私た

これ以上自然環境を破壊するようなことになるってはいけない。そこで、人災であるゴミ問題と自然環境破壊は私たち一人一人が、出来る事に取り組めば、解決できる問題だと考え、昨年の

私は、総務官僚の違法接待を反面教師として、今3月議会で

高い透明性を掲げ、市民の信頼を勝ち取ろうと、全職員に発信してもらいたかった。

全体の奉仕者として市民の信頼を勝ち取れ!

市議 重岡邦昭

法令の遵守、情報の共有、

につれ公務員としての初心を忘れてしまったのか、晩節を汚した事は本当に残念である。とは言え、続く国家公務員の国民を裏切る違法行為が、岩国市政の信頼にまで影を落として

福田市長に「職員の範となる」市長として職務に向き合う心構えについて質したが、残念ながら本人からの答弁はなかった。今だからこそ、福田市長が先頭に立って、市民の誤解を招くことなく、全体の奉仕者としてさらなる



市民政党 草の根 事務局

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしくお願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
 - ②地域のお世話人へ
 - ③直接事務局へ
- 党費 党員 1千円
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

事務所開所時間の変更

草の根事務所の開所時間を次のように変更いたします。急用等の場合は別途対応しますので、よろしくお願いいたします。

- 午前： 9時30分 ～ 12時
- 午後： 2時 ～ 4時30分
- 休日： 土、日、祭日、盆、年末年始

近くにお越しの際はお立寄りください。

かつすけウラ話



長い人生の中で、これまでに一度もスーパーマーケットに行かなかったのではない主人は、自動販売機で売られている飲み物の値段が、スーパーのそれよりずっと高いことをつい最近まで知りませんでした。

これからは、社会勉強のために食料品の買い物にも行ってまいります（すがー記）



国家公務員倫理規程により、国家公務員が、利害関係者（許認可等の相手方、補助金等）の交付を受ける者）から金銭・物品の贈与や接待を受けることが禁止されているほか、割り勘の場合でも利害関係者と一緒ゴルフや旅行などを行うことも禁止され

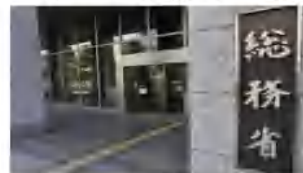


ちやっこ

公務員倫理と接待

「デジタル・トランスフォーメーション、データドリブン・ハックソン・シビックテック・・・」、これは話し始めたばかりの赤子の会話ではありません。山口県の令和3年度予算書に載っているカタカナ語の一部です。

国のデジタル庁創設に傾いた政策とはいえ、どれだけの県民がパツト分かるでしょうか。井原議員が内容を質しました。答弁はネットに載っている語句の



岩国市でも、私は、議員や有力者などの口利きや斡旋、不当な圧力に屈しないで公平、公正な行政を行うことができるように、行政執行基本条例を制定するとともに、そうした働きかけがあった場合には、必ず記録に残し、いつでも公開することができるようになりました。残念ながら、この条例も今はもうない。

草の根コラム

説明、それも間違わないように読むのに精いっぱい感じます。

提案者が質問に答えられないカタカナ文字を、政策の目玉のようにアピールする、どこを向いて県政を進めるのか不安です。

コロナ対策については、国の指針に沿って進める答弁ばかりで、山口県はこれで感染阻止を図る、そんな意気込みも策も無いようだ。県政にしっかり目を向けておきましょう。

草の根ネット案内

草の根ネット案内

草の根ネット案内

草の根ネット案内